



長射程ミサイル配備地 熊本・健軍で疑問の声

自衛隊だけが生き残るのか

国民の命は守れない

「抑止で守る」と「地下化」は矛盾

陸上自衛隊健軍駐屯地で公開された長射程ミサイル発射装置。後ろの建物が敵基地攻撃を担うと思われる西部方面総監部＝3月17日、熊本市東区（日本共産党の上野美恵子熊本市議提供）

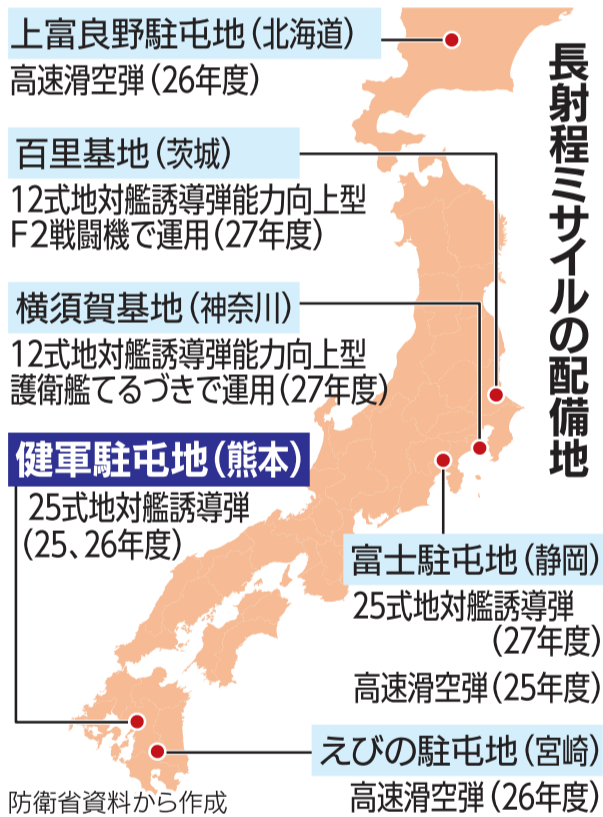
高市政権が大軍拡、敵基地攻撃可能な長射程ミサイルの配備を進める際、必ず口にするのが、「日本の平和を守るためには『抑止力』の強化が必要」という言葉。しかしその裏で政府が「抑止」が破れることを想定した戦争の準備をすすめていることを知っていますか。「抑止力」で平和を守る、はウソ。その実態を追います。 前田泰孝記者

抑止力で平和はウソ 破綻を前提に政府は基地地下化・戦争準備

維新疑惑 追及した

日曜版記者脅迫 被疑者送検

記事9面



長射程ミサイルの配備地

上富良野駐屯地 (北海道) 高速滑空弾 (26年度)

百里基地 (茨城) 12式地对艦誘導弾能力向上型 F2戦闘機で運用 (27年度)

横須賀基地 (神奈川) 12式地对艦誘導弾能力向上型 護衛艦てるづきで運用 (27年度)

健軍駐屯地 (熊本) 25式地对艦誘導弾 (25、26年度)

富士駐屯地 (静岡) 25式地对艦誘導弾 (27年度) 高速滑空弾 (25年度)

えびの駐屯地 (宮崎) 高速滑空弾 (26年度)

防衛省資料から作成



城戸健次さん



柳井公士さん



永田俊洋さん

「相手に攻撃を思いとどまらせる抑止力を高めるものだ」と胸を張る小泉進次郎防衛相。中国大陸が射程圏内に入る敵基地攻撃可能な長射程ミサイルを陸上自衛隊健軍(けんぐん)駐屯地(熊本市)と富士駐屯地(静岡県)

「抑止力」の強化と一体で防衛省が進めているのが「自衛隊基地の強靱(きょうじん)化」。抑止が破れ、戦争になっても自衛隊が戦い続けられるよう、

全国の自衛隊基地の司令部の地下化などを計画しています。そこでは化学・生物・核兵器などの攻撃を想定しそ

駐屯地でも「司令部地下化」が進行中です。健軍校区自治協議会の城戸(きょう)健次会長(76)は「基地を強靱化しても、自衛隊だけ生き残って国民の命は守れない。やっぱり『抑止力』には疑問を感じます」。

熊本市の元航空自衛隊准尉、柳井公士(こうし)さん(59)は「司令部の地下化は『そこが狙われます』と云っているのと同じだ」と指摘します。「集团的自衛権の行使が容認され、日本が攻撃を受けたくないのに自衛隊が米軍と共に戦うことで、日本国土が戦争に巻き込まれる危険性は高まる。地下化はその戦争への備えだ」

九州防衛局が、首長や議員などを対象に開いた長射程ミサイル関連装備品の展示・説明会(3月17日)。参加した泉ヶ丘校区自治協議会の永田俊洋会長(74)は訴えます。「長射程ミサイル配備への不安はさらに強まった。ミサイルで日本を守ると説明する一方で司令部を地下化するというのは矛盾だ」6面につづく

